

「できた!」「わかった!」「楽しい!」

進んで運動に取り組む子ども育成

大分県大分市立明野西小学校

全校児童数	466名(男子240名 女子226名)		
全クラス数	21	教職員数	41名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	明野北小学校		
体育専科教員名		後藤 秋文	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- 体力調査において全国平均を達成した児童の割合が「40.6%(R3)」「44.8%(R4)」「57.3%(R5)」と改善され、学校全体の体力・運動能力は向上してきている。ただし、「握力(筋力)」は全国平均を達成した児童の割合が30%以下であり弱点となっている。
- 子どもたちに能力はあるものの、知識や経験が不足している様子が見られる。運動習慣の二極化が進み、特に運動を苦手と感じている児童の意欲や技能の低下が見られる。
- 昨年度から有効な教材を揃え、環境整備をしていますが、まだまだ修理や補充するものが多い。

2 取組の計画

①授業の充実

- ・授業の最初に主活動につながる補強運動を取り入れ、身につけさせたい技能の習得を図っていく。
- ・ICT機器を活用し視覚的に分かりやすい授業を展開していく。また自分の記録を残し成長を実感できるようにしていく。
- ・外部講師を積極的に招き、いろいろな感覚に触れさせ経験を積ませる。

②年間を通した体力向上

- ・各月に体育目標、各学期に運動特別期間を設けて全校で取り組む。

③体育環境の整備

- ・引き続き、授業で使える有効な用具を揃え、修理・補充を行っていく。

Do：実践内容

1 授業の充実

- ・その日の授業だけでなくロイロノートを活用し、単元通してのワークシートを事前に送ることで学習の流れの見通しをもたせた。
- ・補強運動では負荷をかけるものではなく、主運動につながりゲーム的要素を含んだ楽しめる内容のものを行った。
- ・iPadを使い、個人やチームの動きを撮影させた。その動画をもとに教え合い活動を行った。
- ・体操専門の外部講師や地域プロ野球選手を招き、本物にふれさせた。

2 年間を通した体力向上

- ・運動を中心とした内容だけでなく、心身の健康について知識を高めるための月目標や運動特別期間の取組を設定した。

3 体育環境の改善

- ・運動場や体育館の整備、道具の整理整頓だけでなく、補充・修繕を行い有効な用具を充実させた。
- ・校内研修で「短距離走のスタート」「体力テストを実施する上での注意点」など、指導のポイントを共通理解指導力の向上を図った。
- ・拠点校だけでなく訪問校での担当学年を増やし、実際に授業をしたり担任に対して助言をしたりした。

●工夫したこと(&苦労した点)

○ICTの活用

動きや技のポイントをおさえることで、自己の目標を設定させたり、課題を解決させたりするのに役立たせた。また、単元の終わりには最初と最後の姿を比較させ、自分の成長を振り返らせることで自信をもたせることにつなげた。

○養護教諭と栄養教諭との連携

養護教諭は「睡眠の大切さ」、栄養教諭は「食の大切さ」、体育専科とトレーナーは「運動の楽しさ」を指導する「すこやか教室」を実施し、心身の健康についての理解を深めさせた。

Check：取組の成果

- 体育アンケートの各項目の結果（児童の回答した割合）は以下の通りであった。

「体育の授業ができた・分かった・楽しい」と回答→約95%

「運動やスポーツは大切なもの」と回答→約94%

「友だちと協力して教え合うことができた」と回答→約92%

「体育の授業でたくさん動いている」と回答→約95%

「朝ご飯を毎日食べている」と回答→約94%

Action：今後の課題

- 担任と打ち合わせをする時間が限られており、しっかりとした役割分担が不十分である。授業の中で流れやポイントを子どもたちだけでなく、指導者にも伝えながら展開していく必要がある。また、教え合い活動を行っている際に、担当するペアやグループを指定することも指導力を向上させる1つの方法だと感じた。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

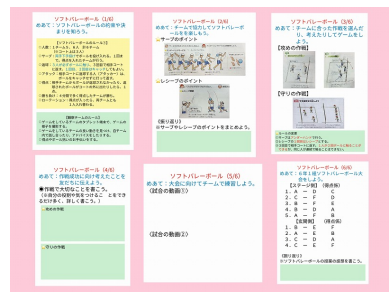
笑顔が溢れ、できるようになったことが増えれば、自信をもち前向きに取り組もうとする姿を多く見られるようになった。それに伴い、自己肯定感の高まりが感じられ、他教科や学校行事にも意欲的に臨めるようになった。体を元氣いっぱい動かすことが、学校の活気につながっている。

地域人材の積極的活用



体操専門の講師を招いたり、地域プロ野球選手との交流会を開いたりした。子どもたちの意欲向上や憧れの気持ちをもたせることができた。

ワークシートの活用



ロイロノートを使い、単元の学習の流れが分かるようにした。

指導者への伝達

〈短距離走のスタート練習〉



ゴールに向かって競争をさせる。前足に体重をのせることの大切さを実感させる練習（ネコとネズミ）。

〈跳び箱での場の設定〉



台上前転での場の設定を紹介。セフティマットから少しずつ難易度を上げていく。

用具の修繕

〈ジャンピングボード〉



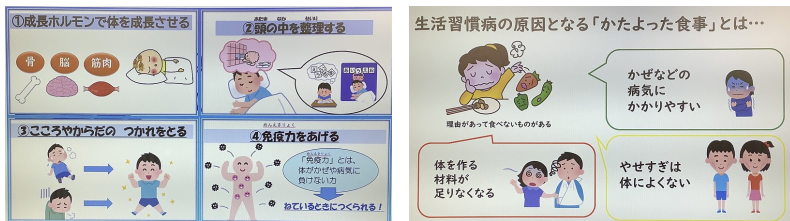
〈跳び箱の台車〉



用具を充実させるために、角材やコンパネなどの材料を購入し、職員で作製した。

養護教諭と栄養との連携

〈養護教諭による「睡眠」の授業〉 〈栄養教諭による「食生活」の授業〉



養護教諭や栄養教諭、体育専科が連携して「すこやか教室」を実施。規則正しい生活が心身の健康につながることを指導した。